

2026年1月5日

内閣総理大臣
高市 早苗 殿

全国生活と健康を守る会連合会
会長 吉田松雄
東京都新宿区新宿5-12-15
KATOビル3F
Tel 03-3354-7431

米のベネズエラ侵略に抗議し、全面撤退を要求することを求める

米大統領は1月3日、ベネズエラへの大規模な軍事攻撃をおこない、同国のマドウロ大統領夫妻を拘束し、アメリカに連行しました。いかなる理由であれ主権国家に対して軍事攻撃を行い、指導者を拘束・連行する権利は、どの国も有していません。トランプ大統領の行為は国連憲章と国際法を蹂躪する違法な侵略であり、当会は強く抗議し、不法行為を直ちにやめることを強く要求するものです。

また、トランプ大統領は、米国によるベネズエラの「運営」に言及し、ベネズエラの石油権益を米国大企業が掌握する方針を示しました。これは米国による植民地支配そのものであり、断じて許さないものです。

この様なトランプ政権の違法・無法行為に対し、日本政府はいまだに抗議をしていません。それは結果として日本政府が米政権の行為を容認したものとみなざるを得ません。日本政府が「法に基づく国際秩序」との外交姿勢を取るのであれば、米の違法行為に対して断固抗議し、米軍の全面撤退を要求することを求めるものです。

当会は、生存権保障の確立をめざして70年間にわたって運動を行ってきたものとして、多くの人命を奪い、生存権と基本的人権を侵害し、想像を絶する貧困と生活苦を強いられる戦争を容認することはできません。米大統領の違法な戦争に抗議し、米軍を全面的に撤退させ、内政干渉を中止することを米政権に要求することを重ねて求めるものです。

以上